

11/5 福井

# 先端技術転用へ新機関

## 無人機やA- 防衛装備を開発

政府、24年度にも

政府は、民間が持つ最先端技術の安全導入分野への転用を進めるため、2024年度にも防衛装備庁に新たな研究機関を開設する方針を固めた。無人機や人工

知能（AI）、量子などの研究を装備開発に生かす狙い。米国で衛星利用測位システム（GPS）など多くの開発をけん引した国防高等研究計画局（DARPA、ターペー）を意頭に置く。複数の政府関係者が4日、明らかにした。「軍民分離」の觀点から学術界への過度な介入と懸念される懼れもある。

【写真】関連記事

草民商用で利用可能な

「デジタルコード」技術の  
開発競争は、米欧や中国  
で実用化の流れをひきこ  
み。防衛力強化につなげる構  
想。23年電子戦「調査費を  
計上し、設立準備を本格化  
される。

資金面で利用可能な  
基礎研究設備からの把握

で実用化の流れをひきこ  
み。防衛力強化につなげる構  
想。23年電子戦「調査費を  
計上し、設立準備を本格化  
される。

大学や企業の取り組みを

基礎研究設備からの把握  
で実用化の流れをひきこ  
み。防衛力強化につなげる構  
想。23年電子戦「調査費を  
計上し、設立準備を本格化  
される。

し役も担う。防衛産業との接続

土本英樹防衛装備庁長官  
は10月27日の衆院安全保障委員会で、今後の研究開発の在  
り方を問われ、「先端技術を  
取り込み、将来の戦い方を  
変える画期的な装備品生

【写真】関連記事

の支援を始めたが、大きな  
成果は上がっていない。

新機関では、先端技術に  
精通した職員が「プロジェクト  
マネジャー」を担当。

将来有望な研究開発に対  
応する助言を行い、実用化を後押し

新研究機関が重視する 主な先端技術	
人間形AI	意思決定支援
無人機	無人機群の運用
暗号	暗号通信
宇宙	小型人工衛星群 の活用
電磁波	通信妨害、電磁パルス攻撃

み出す技術の強化が重要  
だ」と語る。「米国のDARPAなども参考にしつ  
つ、日本の事情を踏まえ検討  
したい」と述べた。

政府が年末に予定する外  
交・安保政策の長期指針  
「国家安全保障戦略」など

3次審の改定を巡り、先端技術をいかに使い  
かが論議となっていた。た  
だ、日本の学術界は過去の

戦事端への反省がけられ  
、距離を取った経  
験があり、反対意見も可能